

令和元年度 対馬市における森林環境譲与税の譲与額及び使途

1 譲与額 30,390千円

2 使途

事業区分	事業名	事業費（千円）		事業内容		税導入の効果	
		うち令和元年度の森林環境譲与税	うち他の財源		詳細		
① 意向調査の準備作業	森林づくり座談会開催事業	17	17	0	私有林の管理・経営について、山林所有者の意向を幅広く聞き取るため座談会形式の会合を実施。	市内3か所において1回ずつ開催 延べ3回の開催で約60名が参加	税活用により、 ・森林所有者等と座談会形式の会合を開くことができ、延べ60人ほどの参加者で森林の経営管理に関する率直な意見交換を行ったことにより経営管理事業に対する理解醸成を図ることができた。 ・地区実施計画対象外松林においても松くい虫被害拡大防止に取り組むことができ、被害木2.9m <sup>3</sup> の伐倒及び燻蒸処理を行うことができた。
⑤ 森林保護対策	松くい虫被害拡大防止事業	90	90	0	地区実施計画対象外の地域において松くい虫の被害拡大を防止するため、衛生伐を実施。	伐倒・燻蒸材積：2.9m <sup>3</sup> 伐倒本数：16本	対馬市は、面積の89%が森林であり、林業が基幹産業の一つとなっていることから効果的な森林整備を積極的に実施していく必要がある。
⑰ 基金積立（森林整備等）	基金積立	20,283	20,283	0	今後増大すると予想される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備（市町村森林経営管理事業）に備えた積立を実施。	—	森林経営管理事業を円滑に進めるため、モデル地区を設定し、令和元年度にまずはモデル地区において事業を進めながら課題の洗い出し等を行う予定であったが、当該地区において森林経営計画策定への取組が進んだため、モデル地区としての実施は見送ったところである。
⑲ 基金積立（木材利用等）	基金積立	10,000	10,000	0	今後建築が予定されている公共建築物の木造化・木質化に備えた積立を実施。	—	令和2年度においては新たにモデル地区を設定し、意向調査の事前準備から進めていく予定である。
合計		30,390	30,390	0			